

令和5年度踊場地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

中田しらゆり地域は、古くから地域活動が活発な地域です。長後街道の沿線は平成11年の市営地下鉄開通と長後街道の拡張工事により都心への通勤圏となり、子育て世代など若い新住民が増加しています。それにあわせて子育て支援の需要が増加し、また新住民が町内会をはじめとした地域組織にいかんスムーズに溶け込むことが出来るかが課題となっています。一方で葛野地区周辺やしらゆり地区など幹線道路から遠い地域は、高齢化が進んでいます。特にしらゆり地域は高齢化が進んでおり、また坂が多く閉じこもりやすい地形ということもあり、介護予防や支援が必要な高齢者の早期発見が課題です。

新型コロナウイルスの流行で停滞していた地域活動にも再開の兆しがあります。地域活動の現状を把握するとともに、活動再開を目指す団体の支援や新たな担い手の発掘となるような事業を進める必要があります。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	泉区生活支援課や戸塚高等学校定時制等、地域の関係機関と協働して、多様な年代、生活課題に対応する取り組みを事業として実施します。戸塚高校定時制の生徒と協働して「おどりば猫祭り」を企画、実施します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の認知症理解を深まる取り組みから一歩進め、認知症になっても住みやすい街づくりを目指します。(チームオレンジ事業) また、地域に2か所ある認知症カフェの支援を引き続き行っていきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	昨年度開始した「ZOOMでつながルーム」を活用し、成年後見や防犯等生活に必要な情報やエンディングノートの周知など、タイムリーな情報発信を行って聞きます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ケアプラザ全職員を対象とした研修を年3回実施します。内1回については人権研修を行います。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	泉サポートプロジェクトに参加している団体の様々なノウハウを活用し、地域のサロンに出張講座という形で連携をし、サロンの活動の幅を広げ活動が継続できるようにアドバイスしていきます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

新型コロナウイルスが5類となり、これまで自粛となっていた地域活動も徐々に再開しています。高齢者サロンをはじめとした地域活動に包括職員、両コーディネーターで積極的に参加することが出来ました。

自主事業では、ICTを活用した事業として昨年度開始した「ZOOMでつながルーム」を継続したほか、子育て応援スペース「ペンギンテラス」、高齢者男性を対象とした「男の手料理講座」、地域の担い手発掘を目指した「絵本の読み聞かせ講座」等を開始しました。

チームオレンジでは、引き続き2か所ある認知症カフェの支援を行うとともに、認知症カフェのスタッフを地域の高齢者サロンに派遣し認知症の啓発とカフェのPRを行いました。

戸塚高校定時制との連携では、登校前の居場所としてプラザスペースを活用しています。また生徒に「おどりば猫祭り」の企画に参加してもらいました。

区からのコメント

・生活支援体制整備事業では、泉区アクションプランの着実な推進のため、区内生活支援コーディネーターが一丸となって取組が進められています。次年度も引き続き、アクションプランの推進にむけた各種取組の実施を期待しています。

・チームオレンジ事業では、2か所の認知症カフェの支援や、小学生に向けた認知症サポーター養成講座、キャラバン・メイトの育成に取り組まれています。次年度も、認知症の方が住み慣れた地域で生活を続けていけるよう、取組を推進してください。

・地域活動の支援については、中田・しらゆり両地区における新たな取組を積極的に支援するとともに、学校関係とのつながりも深めながら特色のある事業を展開し、新たな人材・担い手の発掘につなげています。今後も地域の身近な相談窓口として、情報発信の強みを活かした取組を進めてください。